

令和4年度 ふるさとのづくり支援事業

市町村名	秋田県八郎潟町	
事業名	あんごまソフトの商品化事業	
企業等概要	企業等の名称	特定非営利活動法人 Hachi LAB
	代表者氏名	理事長 野原 静雄
	所在地	秋田県南秋田郡八郎潟町字一日市52番地2
	連絡先	018-838-1688
	URL	

令和6年3月現在

【事業者概要】

- 平成29年、特定非営利活動法人として設立。
主目的は、高齢者の食を守り、買い物弱者を支援すること及び商店街を中心とする地域経済の活性化の手助けをすること。
- 町内唯一の生鮮及び惣菜/ベーカリーの製造販売店として活動、町内の買い物弱者に向けて弁当や総菜などの食品の配達などの他、町内の事業所を含めた利用促進を図るため無料送迎を行っている。

【事業概要】

◇背景・経緯

- 町の中学生と若者中心の団体である「町づくり団体・プロジェクト8」が「あんごまソフト」を開発した。町内で唯一行列のできる「あんごま餅」の販売店である「畠栄菓子舗」とNPO法人Hachi LABがコラボして試作したところ、町内外から大変な反響を呼んだ。そこで、町内の菓子職人も交えて本格的に取り組み、完成度を高めて町の特産品にするべく商品化事業を開始した。

◇開発概要

- 地元の廃業した菓子店から無償譲渡された古いソフトクリーム製造機の提供を受け、道の駅等で年間を通して人気のあるソフトクリームを軸に名産品を作り出したいという思いから開発を始めた。町内の菓子店舗と協力し、餡の配合割合等について試行錯誤し若年層にも受け入れられやすいソフトクリームを開発した。開発したアイスクリームにゴマ粉をふりかけることであんごまソフトが完成した。

【成果】

◇地域性・特徴

- 町内の人気店と協力する相乗効果により、行列のできる商品となった。また、多くの町民が参画しての商品化となったため、町民主体となり地域活性化に取り組むことができた。今回の商品化プロジェクトに触発され、小学生が考案する米粉プリン等、各種商品開発に繋がっており、これらも人気商品となっている。



はちらぼハウス



売り切れてしまうことも多い



あんごまソフト

◇商品化・販売先

- ・現在 Hachi LAB 店舗でのみ販売している。冷凍保存等の課題はあるが、EC サイト等での販売についても検討している。

【今後の展望】

- ・冬季はどうしても売り上げが落ちる傾向にあるため、関連商品やイベントでのコラボレーションで売り上げ向上を図る。また、もの珍しさで購入してくれる新規客以外にもリピーターの獲得に向けて PR を進める。